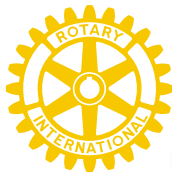


Rotary



# 八尾ロータリークラブ会報

2018  
vol.57  
No.41

5 / 23



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE



国際ロータリー テーマ

**ロータリー:変化をもたらす** 国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

**個性を活かし、参加しよう** 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 片山 勉

八尾RCバナーの主旨  
「我々のクラブは、若いも若きも  
相手を敬愛し、和気あいあい、  
楽しいクラブライフを送っている  
ことが誇りであります」

八尾ロータリークラブ テーマ **和の心を持ち、魅力あるクラブライフを** 会長 菅野 茂人

## 第2770回 例会 プログラム

- 開会 「点鐘」
- ロータリーソング 「四つのテスト」
- 出席報告
- その他の報告
- 会務報告 「会長の時間」「幹事の時間」
- SAA報告 ニコニコ箱

### ▼卓話 「私を語る」

鼓呂雲健造 ・ 平尾貴英会員

- 閉会 「点鐘」

### ■卓話予告

5/30 「安静の害」福家 宏パストガバナー

6/6 「活動報告」

クラブ管理運営委員会 宇野泰正副会長

会員増強委員会 田中康正委員長

出席委員会 稲田賢二委員長

親睦活動委員会 山本昌市委員長

SAA委員会 吉田法功委員長

クラブ広報委員会 柏木武生宜委員長

クラブ研修委員会 中川 将委員長

6/13 「活動報告」

プログラム委員会 小谷逸朗委員長

職業奉仕委員会 飯田寛光委員長

社会奉仕委員会 児林秀一委員長

国際奉仕委員会 松井良介委員長

ロータリー財団委員会 福田隆教委員長

6/20 「活動報告」

越中八尾50周年特別委員会

澁谷登志和委員長

青少年奉仕委員会 野村俊隆委員長

米山委員会 大槻恭介委員長

インターアクト委員会 中西広美委員長

クラブ戦略計画委員会 居相英機委員長

6/27 「1年を振り返って」

菅野茂人会長

長竹 浩幹事 幡田賀紀副幹事

## 会長の時間

春のRYLAのホストとしての役割も無事終了し、何かいつものクラブに戻った感じがして、ちょっとリラックスしております。

今日の会長の時間は久々にロータリーのお話をしたいと考えます。新しいメンバーが多くなって、ロータリーの事を理解して貰うために、歴史的な背景からロータリーの哲学的な部分を何回かお話しましたが、残り期間にこの続きを話したいと考えます。

少し復習になりますが、ロータリークラブは1905年シカゴで弁護士のポール・ハリスが『事業人が友愛の気持ちで親しみ合い、仕事上の知り合いの輪を広げる為の会を作ろう』と言うアイデアのもと一業種から一人の会員を選び、クラブを作る事になって始まりました。

その頃は、相互扶助の概念が強く、ロータリークラブに入れば会社が大きくなり、お金が儲かると、憧れと同時に批判も受けておりました。しかし、自分達だけが報いられるという集団には未来はないと言うドナルド・カーターの登場で、ロータリーも転機をむかえます。

そして奉仕派と親睦派の対立あと、クラブの基本的な理念である「自己と利他の調和こそが奉仕である」をロータリーの思想とした、He profits most who serves best、もともと奉仕するものももっとも報いられる、そして同じ頃に、Service above self 超我の奉仕、という標語が誕生します。

物理的相互扶助の概念は排除され、奉仕と新しい親睦の時代を迎えます。奉仕派も社会奉仕と職業奉仕とに分かれ議論が起こりますが、ポールやアーサー・シェルドンは「慈善活動の重要性は否定しない、しかしRCは職業奉仕の団体である」と、慈善活動する団体との差別化をはかりました。

その後1920年、全米を超えて国際的發展を続けていく組織を受けて、全米ロータリークラブ連合会も国際ロータリー、RIと改名します。国も文化も違うロータリーの思想が余りにも多様化されてしまいました。

そして親睦派と奉仕派、職業奉仕派と社会奉仕派、団体奉仕派と個人奉仕派、そして理論派と実践派とに分かれそれぞれ実績を上げていきますが、人々の確執も一層深まり、一時はロータリーの危機に迄発展しました。

その姿にメルビン・ジョンソンは退会し、その後ライオンズクラブを作りますが、その話は別の機会にします。

この派閥に終止符を打つべく1923年、セントルイス国際大会で決議23-34が成立します。これはロータリーの哲学を定義し、RCとRIの機能分担を明確にし、[奉仕の実践]についてしっかりと理論づけされた内容となつて、これまでの

対立意見を解消させ、ロータリーを概ね団結させました。一度は読んで頂きたいと思います。

1930年代に入ると各国で独裁者がはびこり、1939年には第二次世界大戦が勃発。日本でも軍部に睨まれ、やむなく解散しなければなりません。しかし水曜クラブと名を変えて、活動していました。ひっそりとロータリーの精神は受け継がれていたようです。国際理解と親善を重要な方針として位置付けていた時代でもあったと言えます。

今回は、終戦を迎えた1940年からお話したいと思いません。

## 幹事報告

▼12日に地区の職業奉仕委員長会議が開催され飯田、山陰、笠井会員が出席されました。

▼20日に地区のローターアクト年次大会が開かれ田中、友田会員が参加されます。

▼6月13日にガバナー補佐をお迎えしてクラブ協議会を開催します。本年度の委員長は活動報告の作成をお願いします。欠席の場合は代理の方の出席をお願いします。

▼28日にRYLAの打ち上げを行います。再度、出欠の回覧をします。

## ロータリーの友紹介

### ▼クラブ広報委員会・吉本 憲司 委員

縦書きには青少年交換留学生のホストファミリーをされた方々の体験談が紹介されています。また当地区、片山勉ガバナーのロータリー・モーメント、そして当地区インターアクトの記事も掲載されています。

横書きの講演記録は、南極越冬観測隊員の方です。南極で一年あまり過ごした体験談や、隊員たちのチームワークなどについて興味深いお話が紹介されています。このほか千里RCからカウンセラーに関する投稿と、米山学友の紹介記事が掲載されています。

## その他の報告

### ▼社会奉仕委員会・児林 秀一 委員長

ひきこもり支援の「ホップ・ステップ・ジャンプ」事業につきまして、「ステップ」まで終えた方が、「ジャンプ」として一般企業での就業体験を希望されています。会社で受けてくださる方がおられましたら、お申し出ください。

### ▼職業奉仕委員会・飯田 寛光 委員長

12日に地区の委員長会議に、山陰・次年度委員長と地区委員の笠井会員とで参加しました。

かつての職業奉仕や現在の職業奉仕の考え方などについて説明があり、6クラブから事業の報告が行われました。出前授業や工場見学など多かったです。次年度の相談もしながら、勉強しました。

### ▼澁谷 登志和・次年度幹事

本日例会後、次年度のクラブ協議会を開催します。また地区より、次年度の青少年交換プログラムの募集が届いております。ご興味ある方は事務局までお申し出ください。

### ▼ゴルフ部・小谷 逸朗 部長

明日、濱岡会員の傘寿を祝うコンペを開催します。

## 卓 話

### 「バランスの良い食事とは」

#### ▼正食協会・笹浪 泉 様



現代栄養学とは少し違うかもしれませんが「本当の栄養とは」ということを考え、食育や講演の活動などを行っています。

野菜の皮をむかない、根も食べる、など食物の命をまるごといただくことをお勧めしています。マドンナやトム・クルーズらも実践しており、マクロビオティックとして話題になりました。

日本には、伝統の食があります。人間は生きるためには、食べなくてははいけません、本当の食は楽しくおいしいことはもちろん、食の漢字は人を良くすると書きます。

今は喉元のおいしさばかりを追いかけているため、いろいろな問題が起きているように感じます。

資料では、日本人の健康寿命と平均寿命を紹介し

ています。日本は平均寿命が世界最高位でも、健康寿命はベストテンにも入っていない状況です。2つの寿命の間には、10年前後の差があります。その間つまり、不健康な状態で生きながらえている、ということになります。

これにはいろいろな原因があると思いますが、その中で食が占める割合も軽んじてはいけません。

現代日本人の三大疾患は糖尿病・高血圧・心疾患ですが、これらの患者人口は近年、増加しています。医療が進歩しているにもかかわらず、病人が増えているとは、どういうことでしょうか。何かおかしい、と気づきませんか？

日本人が一番大切にすべきは、お米とみそ汁ではないでしょうか。これらは何代にもわたり、継承してきたものです。

食が影響を及ぼすのは、病気だけでなく、社会問題にも関係していると思います。最近ではニュースで、家族の命を奪う事件などが報じられていますが、こうしたことは昔はなかったのではないのでしょうか。

子どもたちは朝、ごはんとおみそ汁を食べてきたかな、と思います。決しておいしくなくてもいいのです。家庭料理に勝るお薬はないと思います。

資料で紹介している「身土不二」とは、「体と風土は分けられない」という意味です。また「一物全体」は、「ひげも皮も根も、全部食べましょう」ということです。やわらかいところだけ食べるのではなく、全部を食べることが大切です。お米も白米より分づき、分づきより玄米の方がいいと思います。

歯から見る食べ物の割合としてバランスを考えてみますと、5:2:1になります。この割合で食べると、からだの働きにかなっている、と言えます。

肉ばかりなどになると、未消化のまま体内に送られることになります。これが弊害を起こし、病気になることもあります。やはり割合が大事です。

手前味噌という言葉がありますが、みそ汁の味噌は、自分で作るのが一番いいと思います。買う場合でも、なるべくシンプルな材料で作られたものを買うようにしてください。

具で、たとえばわかめなどは、放射線から体を守ってくれます。長崎の被爆者で長生きされた方は、玄米

## 今後の予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2 (休会)	3	4	5	6
7	8	9 理事会	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	青少年奉仕月間 <b>5月</b>		

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6 新旧合同 理事会	7	8	9	10
11	12	13 新旧合同 クラブ協議会	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 国際大会(~27日) カナダ・トロント	24
25	26	27 年度最終例会	28	29	30	

とわかめが何よりの薬だったそうです。

癌という漢字は、品物を山のように体に取り込む、と書きます。要するに、食べ過ぎなのです。質の良いものを、少量食べるのがいいと思います。おかずをたくさん食べないで、シンプルな質の良い食事を、よく噛んで食べるようにしてください。

卵なども、本来の生き方ができているトリが産んだ卵かを考えることも重要です。成長ホルモンを使って本来よりも不自然に早く育てた食材を食べることで、それを自分の体内にも取り込んでいることになります。

近年は女性では乳がん、男性では前立腺がんや肺がんが増えています。

TPPで、遺伝子組み換えの表示がなくなることになります。自分の体を自分で守るためには、選ぶことが大切です。

## ニコニコ箱

▼菅野会長 笹浪様、本日卓話よろしくお願ひします。

秋定慈登様ようこそお越し下さいました。ごゆっくりして下さい。

▼長竹幹事 吉本さん、ライラ写真有難うございました。

▼佐野会員 5/30福家パストガバナー、卓話有難うございます。

▼居相会員 追われる日々が続きます。元気で健康が一番とあらためて感じます。

▼池尻会員 早退お詫び。

▼中川(廣)・飯田・津田・澁谷会員 例会欠席お詫び。

▼小林会員 本日の卓話、笹浪泉先生よろしくお願ひします。

▼笠井会員 明日ゴルフがんばります。

▼吉田会員 ニコニコ、ありがとうございます。

▼野村会員 山本勝彦先輩、先日は有難うございました。

▼山本(隆)会員 ご夫人誕生日。

▼鼓呂雲会員 バッジ忘れ。

## 出席報告

月日	会員数	出席	うち出席規定 適用免除者	出席率	メイク アップ	確定 出席率
4/25	58	43	11	82.69%	2	86.54%
5/9	58	39	10	76.47%		
5/16	58	41	8	83.67%		

